

指導と評価の一体化を明確にした授業づくり

1. 指導と評価の計画 中学校 第3学年 15時間 領域 球技 単元(種目) バスケットボール

中学校 6②班

| 時間 | ねらい・学習活動 | 学習活動における具体的評価規準 | | | |
|-----------------|--|--|--|--|---|
| | | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 運動の技能 | 知識・理解 |
| 導入 1 | ○オリエンテーション ・バスケットボールの特性を知り 学習の見通しをもつ。 ・自分の能力を把握する | | | | ①バスケットボールの持っている特性・楽しみ方・学習の見通しを知っている。 (学習ノート、行動観察) |
| グループ 練習 3 | 【学習1】 ○ゲームで有効なドリブルやパス、シュートができるようにする。 (on the ball skill) (1)ドリブル ・ルーズボールからの1対1 (2)パス ・台形を利用して2対2パス (台形のコーナーのみでボールをキャッチ) (3)シュート (ジャンプシュート・カットインシュート) ・オープンスペースへ走り込んで ・インサイドに飛び込んで ・ポストが上がって ◆ためしのゲーム(3対3) | ①自分の課題をみつけ解決を図るために、すすんで練習に取り組もうとしている。 (学習ノート、行動観察) | ①ゲームで有効なドリブル(ドライブ)やパス、シュート、カットイン(走り込み)について自分の課題を適切に見つけ出すことができる。 (学習ノート、行動観察) | ①ゲームで有効なドリブルやパス、シュートの技能が身についている。 (行動観察、技能チェック表) | ②ゲームで有効なドライブやパス、シュートの種類や方法を説明したり、書き出したりしている。 (学習ノート、行動観察) |
| グループ 練習 3 | 【学習2】 ○味方の(ドリブルやパス)に合わせて、空いているところでボールをもらってシュートやパスができるようにする。 (1)パス&ランプレイ (2)味方のドライブに対して(2対2) ・オープンスペースへ走り込んで ・インサイドに飛び込んで ・ポストが上がって もらう ○ボール-ゴール-相手の位置関係を意識したポジションや姿勢で守備ができるようにする。 (1)3対3で三角ボール回しを5回したのちフリーで攻める | ②チームの課題解決を目指して、仲間と協力したり、教え合ったりして練習に取り組む。 (学習ノート、行動観察) ③チームにおける自分の役割を自覚してその責任を果たし、仲間と協力して準備や後片づけなどを行い、また安全に留意して練習やゲームを行う。 (行動観察) | ②チームの能力や特徴に応じた作戦を立てたり、自分やチームメイトの役割や動きを把握しそれに応じた合理的な練習の仕方を工夫している。 (学習ノート、行動観察) | ②自チームの攻撃の際に、空いているところに素早く走り込んだり飛び込んだりしてボールをもらい、シュートをしたりパスをしたりできる。 (行動観察、技能チェック表) ③相手チームを防御する際に、自チームのカバープレイができるようなポジションを取り素早くカバーに入ることができる。 (行動観察、技能チェック表) | ③バスケットボールについてのサポートプレイのしくみや方法を説明したり書き出したりしている。 (学習ノート、行動観察) |
| グループ 練習 4 | 【学習3】 ○味方を利用して自分が有利に攻められるようにしかけにいくことができる (1)1人のフリーマンを入れ、味方のスクリーンを利用して攻める。 (2)有効なスクリーンをかける。 ◆ためしのゲーム(3対3)→(4対4) | ④作戦を成功させるために、声を掛け合ったり、指示したりしてチームを高めようとする。 (学習ノート、行動観察) | ④対戦相手を分析し、それに応じた自チームの作戦を立てようとする。 (学習ノート、行動観察) | ④自チームの攻撃の際に、スクリーンプレイを使うことができる。 (行動観察、技能チェック表) | ④組織的な攻撃をするための練習の仕方や自分やチームメイトの役割を把握し説明したり書き出したりしている。 (学習ノート、行動観察) |

| | | | | |
|------------------|--|-------------------------------------|--|---|
| ま と め 4 | 【まとめ】 ○まよめのリーグ戦で、空いているところに走り込んだり、スクリーンを使っての攻めや協力して防衛しているか確認する。 | ⑤試合結果を受け入れ、公正な態度をとろうとする。 (学習ノート) | ④試合結果を受け入れ、自分や仲間の努力の成果を振り返る。 (学習ノート、行動観察) | ⑤用具の準備や試合運営の仕方やルール、審判の方法を説明したり書き出ししたりしている。 (行動観察、小テスト) |
|------------------|--|-------------------------------------|--|---|

2. 評価規準

| | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 運動の技能 | 知識・理解 |
|---------------------|--|---|---|--|
| 内容のまとめ ごとの評価規準 | 球技の特性に関心を持ち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、園責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。 | チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。 | 選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。 | 選択した球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。 |
| 単元の評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールや作戦を工夫して、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとする。 ・チームにおける自分の役割を果たし、協力して練習やゲームをしようとする。 ・ルールを守り、審判の判定や指示に従い、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。 ・施設・用具の安全を確かめ、危険なプレーをしないで練習やゲームをしようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの勝敗を分析したり、ゲームを通してゲームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。 ・課題の解決に向けてルールを工夫したり、作戦を立てたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のもっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 ・チームや自分の能力に応じた課題の練習やゲームを通して、集団的技能や個人的技能を高めることができる。 ・相手チームや自分のチームの特徴に応じた作戦を立て、ゲームができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団的技能や個人的技能の高め方を知っている。 ・合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 ・試合の運営やルール、審判の方法を知っている。 |
| 学習活動における 具体の評価規準 | <ol style="list-style-type: none"> ①自分の課題をみつけ解決を図るために、すすんで練習に取り組もうとしている。 ②チームの課題解決を目指して、仲間と協力したり、教え合ったりして練習に取り組もうとする。 ③チームにおける自分の役割を自覚してその責任を果たし、仲間と協力して準備や後片づけなどを行い、また安全に留意して練習やゲームを行おうとする。 ④作戦を成功させるために、声を掛け合ったり、指示したりしてチームを高めようとする。 ⑤試合結果を受け入れ、公正な態度をとろうとする。 | <ol style="list-style-type: none"> ①ゲームで有効なドリブル（ドライブ）やパス、シュート、カットイン（走り込み）について自分の課題を適切に見つけ出すことができる。 ②チームの能力や特徴に応じた作戦を立てたり、自分やチームメイトの役割や動きを把握しそれに応じた合理的な練習の仕方を工夫している。 ③対戦相手を分析し、それに応じた自チームの作戦を立てようとする。 ④試合結果を受け入れ、自分や仲間の努力の成果を振り返ることができる。 | <ol style="list-style-type: none"> ①ゲームで有効なドリブルやパス、シュートの技能が身についている。 ②自チームの攻撃の際に、素早くサポートプレイができるような位置に動いたり走りこんだりできる。 ③相手チームを防御する際に、自チームのカバープレイができるようなポジションを取り素早くカバーに入ることができる。 ④自チームの攻撃の際に、スクリーンプレイを使いノーマークを作りシュートにつなげることができる。 | <ol style="list-style-type: none"> ①バスケットボールの持っている特性・楽しみ方・学習の見通しを知っている。 ②ゲームで有効な有効なドライブやパス、シュートの種類や方法を知っている。 ③バスケットボールについてのサポートプレイとスクリーンプレイのしくみや方法を知っている。 ④組織的な攻撃をするための練習の仕方や自分やチームメイトの役割を把握し説明することができる。 ⑤用具の準備や試合運営の仕方やルール、審判の方法を理解している。 |

保健体育科（球技：バスケットボール）学習指導案

第3学年男女 ○○名

1 単元名 球技（バスケットボール）

2 単元の目標

- (1) チームの課題や自己の能力に適した課題をもって各種の運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。(技能の内容)
- (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。
(態度の内容)
- (3) チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。(学び方の内容)

3 指導にあたって

- (1) 運動の特性 <省略>
- (2) 生徒から見た特性 <省略>
- (3) 生徒の実態 (例)

3年3・4組30名のクラスである。<中略>

<バスケットボールの特性に触れる楽しさの体験状況>

事前アンケート ①バスケットボールのどんなところが楽しいですか？

②これからの学習でどんなことができるようになりたいですか？ 他

<集計結果略>

<バスケットボールの学習状況>

1年時・・・個人技能の向上を主なねらいとして、身につけたものをゲームで発揮することを課題とした学習をした。

2年時・・・個人技能を集団的な技能に発展させて、高まりのあるゲームができることを中心課題とし、速攻やマンツーマン・ゾーンディフェンスを学習した。

(4) 指導にあたって

球技は、集団対集団や個人対個人で作戦を立てて攻防を展開し、得点を取り合って競い合うところに楽しさや喜びを味わうことができ、多くの生徒にとって興味・関心の高い運動である。したがって、バスケットボールを扱う本指導においても、種々の課題ゲームをとおして、個人やチームの課題解決に向けて自主的・自発的に練習させ、個人的技能を効果的に高め集団的な技能に発展させることでゲームの様相が高まるような学習指導を進めたいと考えている。

2年時においては、ゲームを高める集団技能のプレーとして「シュートする」「相手の防御を破る」「ボールの所有を失わない」ということあげ、「攻撃側はボールの所有を失わないようにしながら、相手防御を破り、より確率の高いシュートを打つ」という流れから、そのために必要な技能や考え方を学習課題として進めた。そこで、3年時の本指導では、さらにゲームの様相を高めるため、「より確率の高いシュートを打つ」ことにねらいを絞り込み、バスケットボールの技能を、課題ゲームなどをとおして、生徒の気づきを促し、考えさせながら学習活動を進めていきたい。

<本指導における学習活動の視点（技能）>

◎より確率の高いシュートを打つために

- ①個人の技能で直線的に攻撃する。
- ②組織的に相手の防御を崩す。

◎そのために必要な技能（動き）

- ➡①シュートチャンスを見極める。 →自分とボール、ゴールの位置を考える。
- ➡②サポートする動きにより、意図的にノーマークの状態を生み出す。

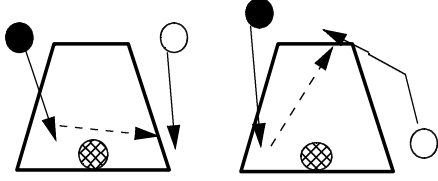
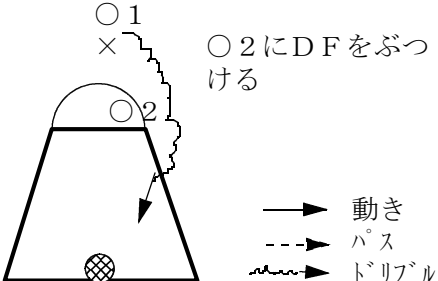
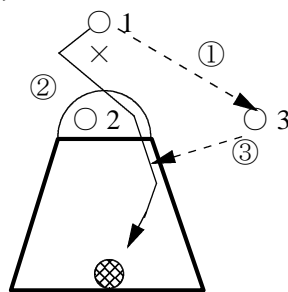
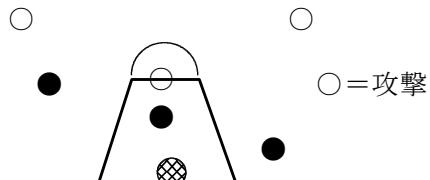
→効果的なパスや効果的なパスを受けるための動き

4 評価基準 (別紙様式2-2)

5 指導と評価計画 (別紙様式2-1)

6 本時の指導

| |
|---|
| 単元名：バスケットボール 本時（8／15時間） |
| 本時のねらい (1)練習を通して、効果的な方法を見つけたり、工夫しようとしたりすることができる。 (2)味方をうまく利用して、自分が有利に攻めることができる。 |

| 時間 | 学習内容（ねらい） および学習活動 | 教師の支援（指導）及び評価規準，評価方法 |
|-------------------|--|--|
| <p>導入 10分</p> | <p>◎準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム毎にストレッチをして，パス，ドリブル，シュート練習を行う  <p>◎集合・挨拶・出欠確認・健康観察</p> <p>◎本時の学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題，学習ノート記入の内容の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・各班に、いろいろな場面を想定して試してみることを助言する。 ・練習場所は、ローテーションで割り当てる。 ・板書等により、迅速かつ確実に伝えられるよう配慮する。 |
| <p>展開 30分</p> | <p>◎味方を使って有効に攻撃するためにはどうしたらよいか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発問) 味方をうまく使うためにはどんな方法があるか。</p> </div> <p>(1) ボールを持った状態での味方の使い方</p>  <p>○1 × ○2 にDFをぶつける</p> <p>→ 動き --> パス ~> ドリブル</p> <p>(2) ボールを持たない状態での味方の使い方</p>  <p>◎試しのゲームをする。</p> <p>下図の状態ゲームをスタートする。</p>  <p>○ = 攻撃</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・発問により、具体的な動き方について考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分のマークマンを味方に当てるように走り込んでボールをもらうことができることをねらいとした学習であることを確認する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンがかからず、マークマンをはずせないことが予想されるので、ドリブルするコースを工夫させる。 ・○2の生徒の役割を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【関心・意欲・態度の評価】</p> <p>練習を通して、効果的な方法を見つけたり、工夫しようとしたりすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・○3がパスを出す場所やタイミングについてシュートにつながるようなパスになるよう助言する。 ・自分のマークマンの位置を確認しながら、自分の動きを工夫させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【運動技能の評価】</p> <p>味方をうまく利用してして攻撃をすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをスタートするときの位置を決め、本時のねらいに近づける工夫をする。 ・練習したことを意識して、ゲームに取り組みさせる。 |
| <p>整理 10分</p> | <p>◎チームミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チームや個人の反省を行う。 ・学習ノートの記入する。 <p>◎本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習（練習）課題やポイントの確認（発問）ノーマークになるためどんな工夫をしましたか。 <p>◎整理運動・挨拶・片づけ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習ノート記入のポイントを与える。 ・各自の取り組みを観察して、課題が把握できているか確認する。 ・よかった点や改善点を具体的に助言する。 ・発問により、生徒の発言で確認していくように進める。 ・協力してスムーズに進むように支援する。 |